

市場移転に関する関係局長会議

平成30年4月25日

1 千客万来施設事業の動向

千客万来施設事業の概要

(1) 整備目的 築地特有の貴重な財産であるにぎわいを継承・発展させるとともに、市場本体施設と連携し、豊洲ならではの活気や賑わいを生み出すことを目的とする。

(2) 整備手法 事業用定期借地権方式（50 年間）により、民設民営で実施

(3) 配置図



千客万来施設の事業者による提案概要

- 事業者（平成28年3月に公募型プロポーザル方式で決定）いちば
代表企業：万葉倶楽部株式会社（チーム豊洲江戸前市場）

○事業者の提案概要

（1）施設全体のコンセプト：豊洲江戸前市場（食を起点に日本の文化を発信）いちば

（2）施設構成

<商業ゾーン>

特 徴

- 江戸の街並みを再現したオープンモールで飲食・物販店舗を展開
- 市場に隣接する立地を活かした新鮮食材の販売
- オープンスペースにおけるイベントの実施

<温泉・ホテルゾーン>

特 徴

- 豊洲の立地特性を最大限に活かし、24時間営業の温泉・ホテルを展開
- 屋上の展望デッキに足湯を設置
- キッチンスタジオ・道具市を配置し、食の情報を発信
- 全天候型のスペースにおけるイベントの実施

事業者提案によるイメージ図



■環状二号线側からの景観



■イベントスペース



■屋上の展望デッキに足湯を設置



■全体鳥瞰図



■江戸の街並みを再現したオープンモール



■ゆりかもめから段差なしでアプローチ可能な商業棟

千客万来施設事業に関する主な経緯

年 月 日	事 項
平成27年9月	○募集要項の公表(前事業予定者の辞退を受けた再公募)
平成28年3月	○事業予定者を「万葉倶楽部株式会社」に決定
平成28年6月	○万葉倶楽部株式会社と「基本協定書」を締結
平成28年8月	○豊洲市場への移転延期を表明
平成29年2月	○基本協定書の変更についての合意書を締結 ・施設の完成期限等を「都と事業者が別途協議の上合意する日」に変更
平成29年6月20日	○市場移転に関する「基本方針」を発表
平成29年7月21日	○市場移転に関する関係局長会議を開催 ・豊洲市場は継続的に中央卸売市場として運営するとともに、日本の中核市場として育てていく ・築地再開発に当たっては、千客万来施設事業との整合を図りつつ、開発コンセプト等を具体化していく
平成29年12月20日	○豊洲市場の開場日を平成30年10月11日に決定
平成30年1月～3月	○万葉倶楽部側からの要望を受け、事業実施に向けた諸条件等について継続的に協議
平成30年4月18日	○都から事業者に対し、本年4月25日までに事業実施に向けた意思を回答するよう文書で依頼

2 築地再開発に関する報告

築地再開発検討会議「築地まちづくりの大きな視点」〈骨子案〉の概要

【検討の前提】

- ・再開発の具体化に当たっては、豊洲市場と一体となったにぎわいを創出する千客万来施設事業のコンセプトとの両立や相乗効果を図ること。

【目的】

- ・築地のポテンシャルを生かし、魅力と付加価値をさらに高め、東京の持続的成長につなげること。

【示す内容】

- ・築地再開発に当たっての大きな方向性、重点を置くべき事項、都がまちづくりの検討を進める上での留意事項など、基本的な考え方を示す。

【構成】

- 0 築地の新たなまちづくりに当たっての目標
- 1 立地条件の最大限活用
～戦略的に交通結節点を形成～
- 2 時間軸を見据えた周辺との有機的つながり強化
- 3 地域のブランド価値の再構築
～交流拠点の形成と新たな価値の創出～
- 4 新たな築地が持つべき機能と空間のあり方
～23ha内の特性に応じ適切な機能を順次導入～
- 5 ガバナンス体制の構築
～ガイドラインに基づく中長期的開発のコントロール～